

毛呂山町学童保育所で大切にしていること

学童保育所は「安心して働きたい」という保護者の願いから生まれました。学童保育所に通ってくる子どもたちは、昼間保護者の皆さまが就労等で放課後家に帰っても誰もいない子どもたちです。

友だちとケンカをしても、支援員に注意されても、子どもたちは学童保育所へ帰ってきます。「楽しいから行く、つまらないから行かない」という意志とは関係なく帰ってくる場所です。そのため私たち支援員は、子どもたち自身が学童保育所を自分の居場所ととらえ、帰ってくるのがあたり前になるように、安心できる人間関係を築いていくことに心を砕きます。保護者の皆さまからも、なぜ学童保育所に通わなくてはならないのか、安心して働けるために行って欲しい場所であることを子どもたちに話してあげてください。

学童保育所には学年も、個性も、やりたいことも、みんな一人ひとり違う子どもたちが集まります。一人ひとり違う子どもたちが一つ屋根の下に集まれば、いろいろなことが起こります。楽しいこともあれば嫌なことも起こります。問題にぶつかり「行きたくない」と思うこともあると思います。

しかし、さまざまな経験をして子どもたちは互いに分かり合っていきます。そのいろいろな出来事を通して、支援員と子ども、子どもたち同士が少しずつ分かり合えるように私たちは働きかけています。どうか「いってらっしゃい」と背中を押してあげてください。

私たちは、昼間わが子を見ることができない保護者の皆さまに、そんな子どもたちの学童保育所での生活の様子を保護者会やおたより(わんぱく便り)を通して伝えて、一緒に子どもたちの成長を見守りたいと思っています。

どうか学童保育所の子どもたちを、わが子と一緒に生活する仲間としてあたたかく見守ってください。こういう時代だからこそ、子どもたちが引き起こす失敗や、いたずら、子ども時代ならではの出来事を大事に保障してあげたいと思っています。

心配なこと疑問に思うことは遠慮なく支援員に教えてください。支援員と保護者の皆さまとで力を合わせて、子どもたちにとって充実した学童保育生活を保障できればと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



毛呂山町学童保育所 支援員一同